

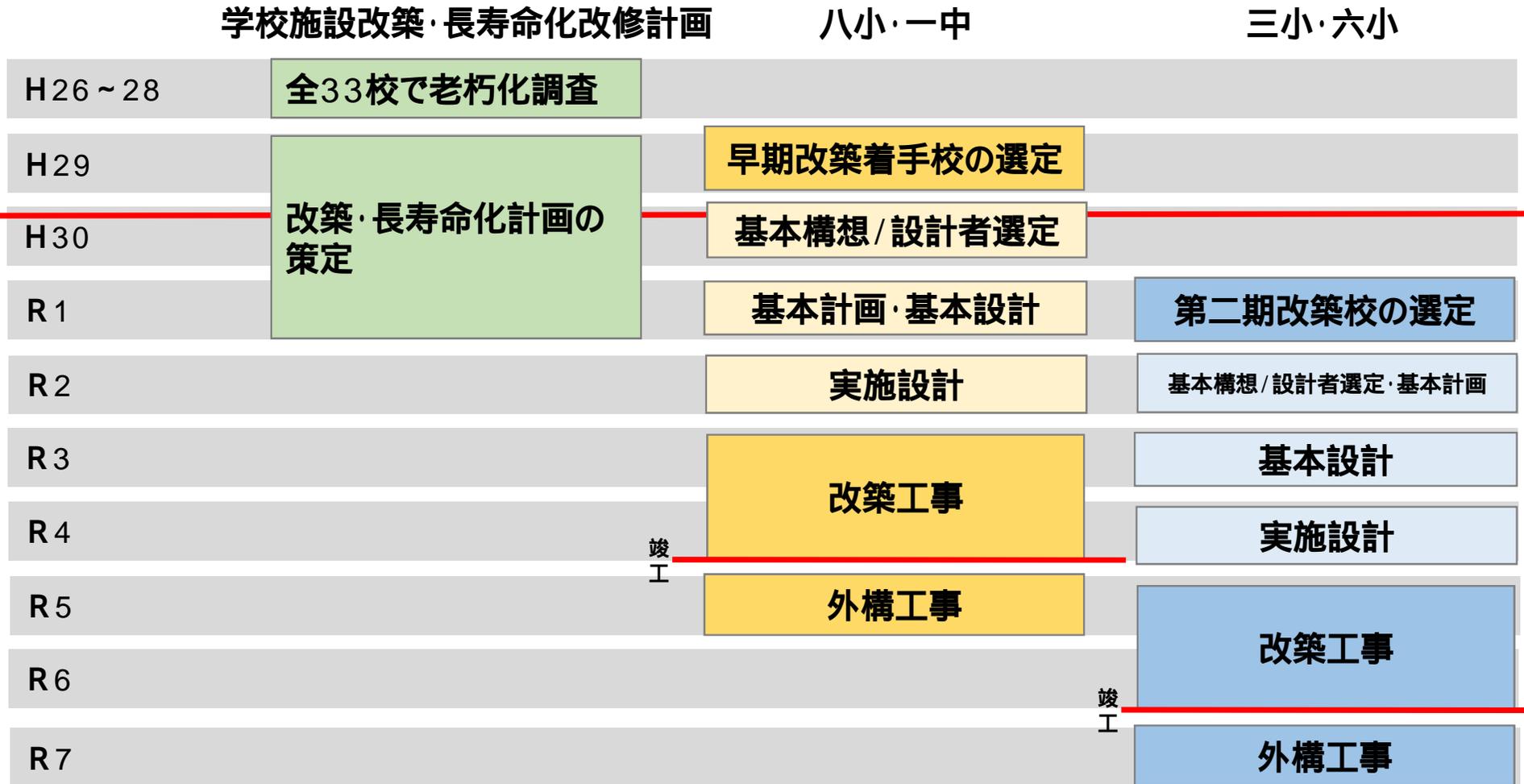
【資料6】

# 学校施設の老朽化対策

令和5年7月18日(火)  
府中市教育部学校施設課

# 老朽化対策のスケジュール

学校施設老朽化対策特別委員会の設置



竣工

竣工

# 学校施設改築・長寿命化改修計画について 概要版

現状  
(1ページ)

学校施設の79%が築40年以上。  
老朽化が進行。

対応  
(2ページ)

老朽化対策は、「改築」を基本に実施

老朽化対策の順番  
(3ページ)

早期改築着手校、第1、第2グループにグループ分け

教育環境の充実  
(4ページ)

公平な環境、学校の独自性、新しい教育ニーズへの対応

地域に求められる役割  
(5ページ)

避難所、地域開放、複合化への対応

整備方針の作成  
(6ページ)

市で統一となる、学校全体や各諸室の整備方針を作成

整備スケジュールと費用  
(7ページ)

2年ごとに2校のペースで改築を実施で、期間は32年。  
改築費用は、1370億円。

# 改築後の各諸室の整備方針について

## 新しい学びへの対応

### 普通教室

**新しい「普通教室」について**

「落ち着き」と「多様な学び」を実現した普通教室をつくります。

- 子供たちが多くの時間を過ごす生活の場として、「落ち着き」・「居心地が良い空間」を創ります。
- 学びの場として、落ち着いた学習ができる、「多様な学び」に対応できる教室とします。
- ICTを活用した授業や、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、柔軟な配置が可能な「ゆとりある広さ」にします。
- 大きな教材や、たくさんの教材を収納する「大きな机」を採用します。
- 日常的な発達の場としての機能スペースも充実させます。

**新しい学校施設の「普通教室」の整備方針**

小学校	中学校
<p><b>Point 1</b> ▶ゆとりある広い空間</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、柔軟な配置が可能な空間とします。</p>	<p><b>Point 1</b> ▶ゆとりある広い空間</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、柔軟な配置が可能な空間とします。</p>
<p><b>Point 2</b> ▶ゆとりある机サイズ</p> <p>●机の幅は120cm以上、奥行きは60cm以上を確保し、柔軟な配置が可能な空間とします。</p>	<p><b>Point 2</b> ▶ゆとりある机サイズ</p> <p>●机の幅は120cm以上、奥行きは60cm以上を確保し、柔軟な配置が可能な空間とします。</p>
<p><b>Point 3</b> ▶ゆとりある収納とすっきりした机まわり</p> <p>●机の奥行きに収納スペースを確保し、机まわりをすっきりとします。</p>	<p><b>Point 3</b> ▶ゆとりある収納とすっきりした机まわり</p> <p>●机の奥行きに収納スペースを確保し、机まわりをすっきりとします。</p>
<p><b>Point 4</b> ▶簡単に出入りできる教壇</p> <p>●教壇の奥行きに出入りスペースを確保し、簡単に出入りできるようにします。</p>	<p><b>Point 4</b> ▶簡単に出入りできる教壇</p> <p>●教壇の奥行きに出入りスペースを確保し、簡単に出入りできるようにします。</p>
<p><b>Point 5</b> ▶ゆとりある机サイズ</p> <p>●机の幅は120cm以上、奥行きは60cm以上を確保し、柔軟な配置が可能な空間とします。</p>	<p><b>Point 5</b> ▶ゆとりある机サイズ</p> <p>●机の幅は120cm以上、奥行きは60cm以上を確保し、柔軟な配置が可能な空間とします。</p>

### メディアセンター

**新しい「メディアセンター」について**

これまでの図書室・コンピュータ室を「主体的・対話的で深い学びの場」の中心として、使いやすいものにします。

- これまで広く利用した図書室とコンピュータ室を1つに統合します。
- 学校の生活や学習において、主体的・対話的で深い学びを行う中心の場となります。
- 少人数学習も多様な学習活動に対応できるオープンスペースを確保します。
- みんなで語りあができて、自主学習にも使える机、椅子を配置します。
- 授業以外に、取組と会話ができるようなスペースを確保します。

**新しい学校施設の「メディアセンター」の整備方針**

<p><b>Point 1</b> ▶学習交流、見守る空間</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、学習交流の場としての機能を果たすようにします。</p>	<p><b>Point 2</b> ▶メディアセンターの活用</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、学習交流の場としての機能を果たすようにします。</p>
<p><b>Point 3</b> ▶多様な学びへの対応</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、学習交流の場としての機能を果たすようにします。</p>	<p><b>Point 4</b> ▶学習のためのスペース</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、学習交流の場としての機能を果たすようにします。</p>
<p><b>Point 5</b> ▶コンピュータ室との連携による学習活動の促進</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、学習交流の場としての機能を果たすようにします。</p>	<p><b>Point 6</b> ▶フレキシビリティの確保</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、学習交流の場としての機能を果たすようにします。</p>

## 教職員の働きやすい環境づくり

### 校務センター

**新しい「校務センター」について**

教職員が働きやすい執務環境をつくります。

- 教職員が多様な専門スタッフが、それぞれの専門性を活かして能力を発揮できる執務環境をつくります。
- 教職員がチームワークを構築しやすくなるために、打ち合わせしやすいスペースを確保したり、教職員がリラックスして過ごせるようにします。
- 教職員が、授業の準備や様々な業務を、より効果的・効率的に行えるよう、集中しやすい執務環境をつくります。
- 整理整頓がしやすい、重要な情報はしっかりと管理できるようなります。
- 子供たちが身近に相談できるスペースを設けます。

**新しい学校施設の「校務センター」の整備方針**

<p><b>Point 1</b> ▶チームワークを構築できる執務環境</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、チームワークを構築しやすい環境をつくります。</p>	<p><b>Point 2</b> ▶学習・生活相談ゾーン</p> <p>●子供たちが身近に相談できるスペースを設けます。</p>
<p><b>Point 3</b> ▶学習・生活相談ゾーン</p> <p>●子供たちが身近に相談できるスペースを設けます。</p>	<p><b>Point 4</b> ▶学習・生活相談ゾーン</p> <p>●子供たちが身近に相談できるスペースを設けます。</p>

### 学校経営ルーム（校長室）

**新しい「校長室（学校経営ルーム）」について**

「チームとしての学校」の実現に向け、「校長のリーダーシップ」のもと、教職員や多様な専門スタッフ、PTA、地域住民、団体等との連携・情報交換等を行う場とします。

- 学校経営の中心となる校長の指導の場となります。
- 学校の抱える多様な課題・問題に対する解決策を、地域の知恵や力を活用するために、学校と地域が集まる場所をつくり、学校経営について話し合う場所とします。
- スクール・コミュニティ協議会などの人が学校経営に参画する場として、活用します。

**新しい学校施設の「校長室（学校経営ルーム）」の整備方針**

<p><b>Point 1</b> ▶「チームとしての学校」の核となる空間</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、チームとしての学校を実現するための空間をつくり、校長のリーダーシップを発揮するための場とします。</p>	<p><b>Point 2</b> ▶多目的に利用できるスペース</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、多目的に利用できるスペースを確保し、校長のリーダーシップを発揮するための場とします。</p>
<p><b>Point 3</b> ▶行き来しやすい配置</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、行き来しやすい配置を確保し、校長のリーダーシップを発揮するための場とします。</p>	<p><b>Point 4</b> ▶柔軟な配置と打ち合わせスペース</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、柔軟な配置と打ち合わせスペースを確保し、校長のリーダーシップを発揮するための場とします。</p>
<p><b>Point 5</b> ▶執務性の確保</p> <p>●机・椅子の配置を確保し、執務性の確保を確保し、校長のリーダーシップを発揮するための場とします。</p>	

# 早期改築着手校の整備

令和4年度末に竣工

令和5年度から新校舎での教育活動をスタート



八小



一中

# 普通教室（計画 実際の写真）

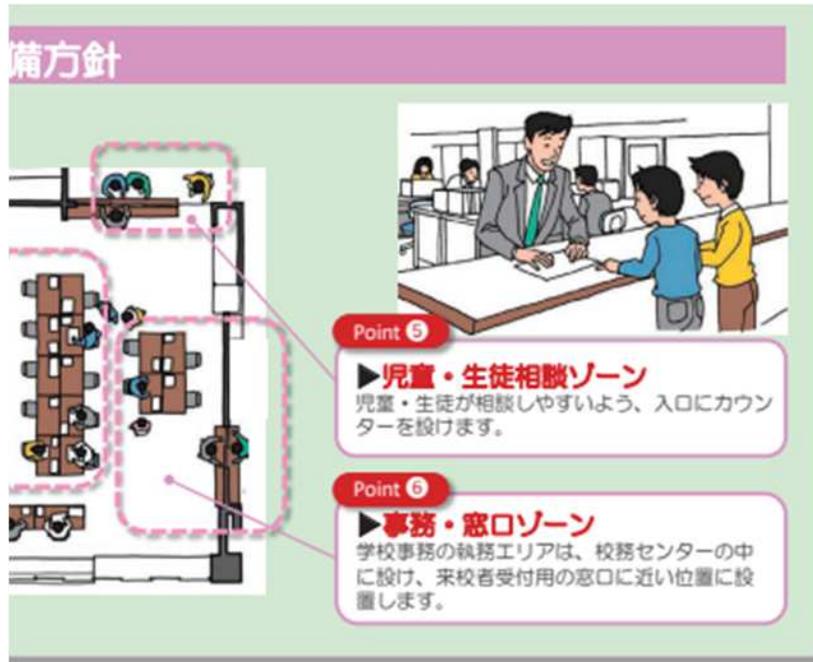


# メディアセンター（計画 実際の写真）



© 2023 Bluecat Studio

# 校務センター（計画 実際の写真）



© 2023 Bluecat Studio

# 学校経営ルーム（計画 実際の写真）



© 2023 Bluecat Studio

# 避難所としての利用

## 八小



500㎡ 830㎡で収容人数  
が増加

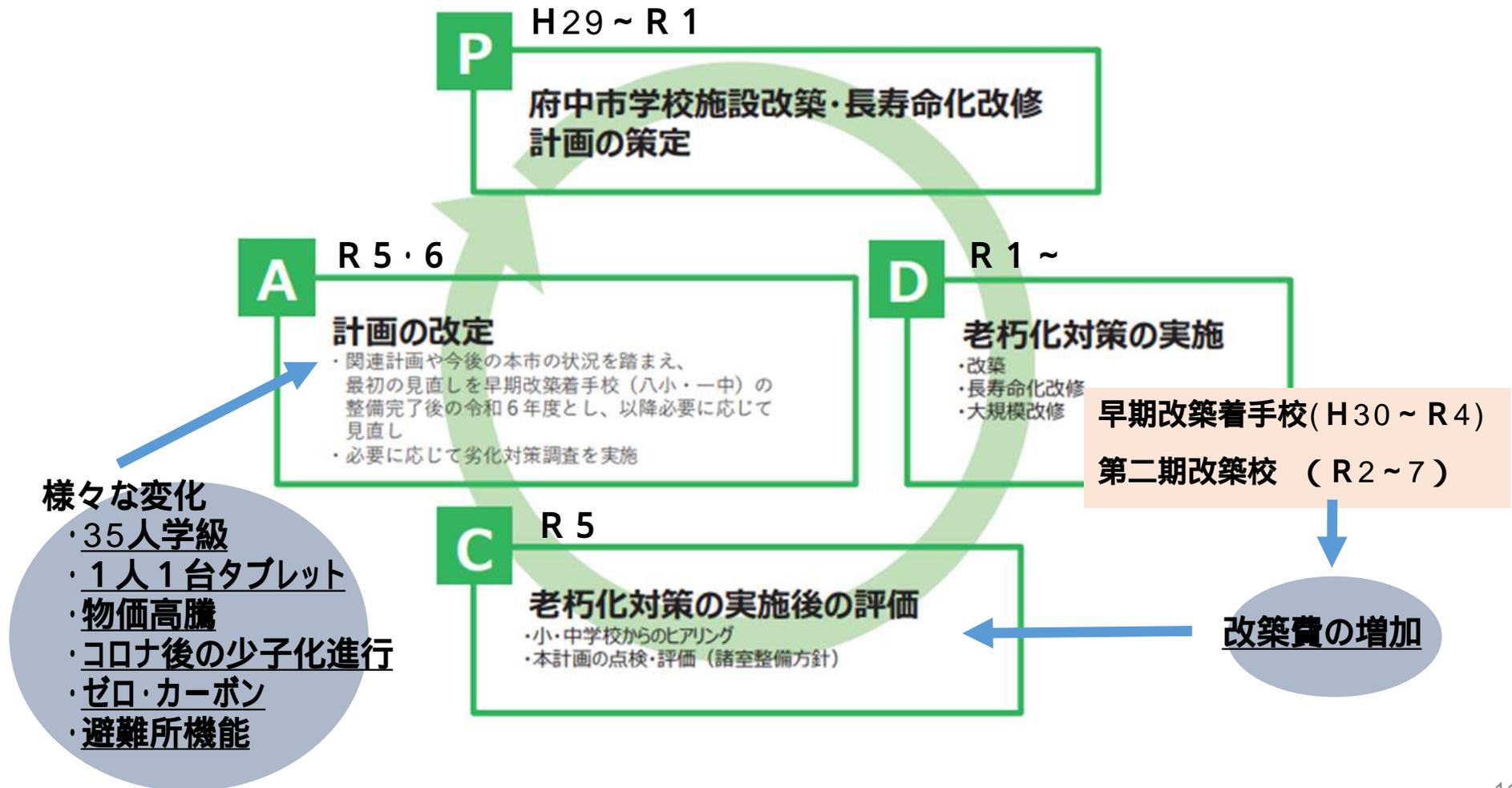
間仕切りでセキュリティを確保し、  
地域利用が可能。

防災倉庫を体育館と一体的  
に整備

半屋外空間を設置

地域利用ゾーンには、受水槽  
からの給水、雑排水はプール  
水を活用、ガスバルクでガス  
供給、太陽光・自家発電・蓄  
電池で電力供給・エアコン使  
用が可能

# 今後の老朽化対策の進め方



# 学校施設の整備スケジュールの見直しについて

2022年12月28日府中市ホームページ掲載

学校施設の改築事業については、令和元年度に策定した府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（以下「計画」といいます。）に基づき、中断なく進めており、令和3年度には、第三期改築実施校を選定するなど、老朽化対策の推進に努めてきました。

しかし、本年度末にしゅん工を予定している第一期改築実施校では、建築資材の高騰に加え、防災や環境面など新たな学校に求められる役割や機能に応じた整備が必要になっていることなどから、改築費用が想定以上に増加しており、今後も同様に改築事業を進めた場合、計画で定めた総額1,370億円を超えてしまうことが懸念されます。

このことから、当初は、改築事業を継続しながら令和6年度に計画の改定を行うこととしていましたが、改築事業を一部休止し、計画の改定後に再開するよう、整備スケジュールの見直しを行うものです。

## 第三期改築実施校について

第三期改築実施校については、計画の改定を行う中で、校舎等の築年数や児童生徒数、学校適正規模・適正配置検討協議会の検討状況などを踏まえ、改めて改築実施校の優先順位を検討した上で、令和7年度以降に改築事業に着手します。このため、本年度に予定していた基本計画及び基本・実施設計業務の受託者の選定については見送ることとします。